



# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 109

2021. 2月号

【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<右側の QR コードで、久保田由夫のブログがご覧いただけます。>



<季節の写真>

春はすぐそこまで。わが家の庭の梅の木が開花間近です。

◇国の機密費をご存知でしょうか。1月4日付けしんぶん赤旗では「菅義偉首相が内閣官房長官に在任した7年8カ月余(2822日)で自身に支出した内閣官房機密費(報償費)は86億8000万円超だった」「菅氏は、自身の“つかみ金”として1日平均307万円をつかった計算」◇機密費問題が、政府自身による国民の税金の不正な流用という点で、きわめて悪質であり、日本の政治をもっとも奥深い闇のなかで腐敗させている根源であり、このシステムの根絶が必要です。◇緊急事態宣言が続く中、深夜まで飲食店に出入りしていたなどとして、自民・公明両党の国会議員が議員辞職や離党しました。また、公職選挙法違反で有罪判決を受けた国会議員も辞職しました。政治不信が募るばかりです。◇ポストコロナに向けて、昨年オンライン研修会などに参加しています。1月には3日間、2月も3日間が予定しています。◇上田市議会も12月議会からパソコン・タブレットの本会議場・委員会の持ち込みがOKになりました。私もさっそく、持ち込んでメモをとっています。(くぼた よしお)

## 共産党市議団が市長に「PCR 検査の抜本的な拡充」「地域経済対策事業」で申し入れ (第4次分)



1月20日、日本共産党上田市議団(古市順子市議団長)が土屋陽一上田市長に「新型コロナウイルスに関する申し入れ(第四次分)」を行いました。市からは、市長、井上副市長、中村総務部長、山口財政部長、近藤福祉部長、小林健康子ども未来部長、小相澤商工観光部長、中澤教育次長らが出席し懇談しました。

懇談では、各部長から事前に提出した内容について、口頭で説明がありました。また、土屋市長からは、「申し入れの内容について市としてもしっかり検討させてもらいたい」井上副市長からは「一大事業となるワクチン接種や4月末の参院補欠選挙、上田市独自の事情として本庁舎建設に伴う引っ越し作業などが予定されており、全庁体制で取り組みたい」とのことでした。

第四次分の申し入れの内容は、「PCR 検査の抜本的な拡充」「地域経済対策事業」など19項目です。

- ◎医療機関や高齢者施設、福祉施設への拡充について
- ◎医療機関等への助成措置について
- ◎学校、保育園、幼稚園、市役所への拡充について
- ◎行政検査とともに社会的検査の拡充について
- ◎国や県に対する要望について
- ◎ワクチン接種について

### ◇日本共産党上田市議団のこれまでのコロナ関連の申し入れ◇

日付	申し入れのタイトル	主な内容(項目)
2020年3月1日	新型コロナウイルスに伴う市内小中学校の臨時休校についての緊急申し入れ(第一次分)	2月27日、「全国全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について、来週3月2日から春休みまで、臨時休業を行うよう要請」への対応(5項目)
2020年3月23日	新型コロナウイルスへの対応に関する緊急申し入れ(第二次分)	「相談・情報提供、税金、経済対策」「保護者負担の軽減など」(6項目)
2020年4月15日	新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急申し入れ(第三次分)	「正確な情報提供、冷静で責任ある行動」「受診・医療体制」「市民負担の軽減、助成制度」「保育園、学童保育、小中学校」「自粛と補償は一体の緊急経済対策を」「市役所の業務体制」など(18項目)
2020年11月12日	2021年度上田市政と予算に関する要望書に新型コロナウイルス対応の項目を新設。	「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と地域経済対策の立て直しについて」など(6項目)
2021年1月20日	新型コロナウイルス感染症に関する申し入れ(第四次分)	PCR検査の抜本的な拡充、経済対策など(19項目)